

## 【2月27日（月）朝会の話『ライオンとネズミ』】

今日は、ライオンとネズミの話をしてします。

ある日、ライオンが広い草原で横になっていると、小さなネズミが、ライオンのおなかにぶつかってきました。ライオンは、痛くはなかったのですが、ぶつかってきたネズミを捕まえて言いました。

「こら、百獣の王のライオンにぶつかってくるとは、何というヤツだ。食べてしまおうぞ！」

すると、ネズミは震えながら言いました。

「ライオン様、すみません、実は急いでいたのです。どうか、私の命はお助けください。もし助けていただければ、きっといつかあなたの役に立つはずですよ。」

「なに？こんな小さなネズミが、俺様の役に立つだと？そんなことがあるものか！無理に決まっている。でも今はおなかも空いてないから、今回は助けてやるか。」

ライオンはそう言って、ネズミを食べないで許すことにしました。

さて、ある日のこと、ライオンがゆっくり草原を歩いていると、「バサッ」と、すごい音がしました。なんと人間が作った罠に引っかかってしまったのです。その罠は、あみが固くて逃げるのができません。ライオンは、「俺は百獣の王だ。俺様は強いのになぜ…。」そう言って悔しがりましたが、もうどうにもなりません。ライオンはガッカリして諦めてしまいました。

しかし、その時、前に許したネズミが来て、つながれた固いロープをかじってくれたのです。時間はかかりましたが、人間が来る前にライオンは逃げる事ができました。ネズミは、「この前、助けてもらったので、その恩返しです。役に立ちましたか？」

と言いました。ライオンは恥ずかしそうに、「ありがとう」と、ネズミにお礼を言いました。

お話は以上です。ライオンは百獣の王ですが、大きくて強いからといって、すべてにおいて勝っているわけではありません。反対に、ネズミは小さくて弱そうだからといって、すべてにおいて劣るわけではありません。それぞれ、得意なことが違います。それぞれにそれぞれのよさがあります。

滝坂小学校の552人の皆さん一人一人には、ライオンとネズミと同じように、それぞれによさがあります。ですから、だれかと比べて自分は「だめだな」などと自信を失わないようにしてください。

さて、3学期も20日を切り、残り少なくなりました。

自分だけのよさを忘れずに、新しい学年への準備をしていきましょう。

以上で、お話を終わります。

